

浜松市はままつ夢基金事業費補助金事業完了報告書

1 団体名、事業名、補助金額等

(1)団体名	浜松子ども劇場
(2)事業名	子どもの健全育成事業
(3)事業費総額 および補助金 交付決定額	事業費総額 228,760 円 補助金交付決定額 180,000 円
(4)実施事業の 概要	「粕尾将一の世界一のなわとびショータイム」の公演開催。 なわとびのパフォーマンスショー及びワークショップ(体験会)を実施。

2 事業の目的について

(1)地域の課題	- 子どもたちの「自由に遊べる居場所」「コミュニケーションの機会」「感情を揺り動かす機会」が不足している。 - 学校や幼稚園などで観劇のカリキュラムが減少している。
(2)事業の目的・必要性	優れた技を観たり、実際に体験する機会を作ることで、市民や子どもたちの感性を磨く機会を作る。また、共感性、社会性、コミュニケーション力を持つ、心豊かな子どもに育てていく一助としていく。
(3)事業の先進性と独自性	- なかなか見ることのできないプロのパフォーマンスを目の前で観たり、実際に体験したりすることによって、子どもたちの夢や未来への希望を育み、青少年の人間育成に寄与する。また、親子で参加することで、感動の共有ができる。 - ワークショップ(体験会)を通して、プロのパフォーマーとの交流や親子の交流をはかることで、子どもたちの変化を伝え合い、成長を見守ることができる。

3 事業の実施内容

(1)事業内容	「粕尾将一の世界一のなわとびショータイム」の公演開催。 - 世界が認めた！なわとびパフォーマンスショー(30分)： 世界最高峰のサーカス集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」に5年間在籍し、アメリカフロリダ州の常設公演に2,500回の長期出演をしたプロのなわとびパフォーマー粕尾将一さんをお招きし、パフォーマンスとトークを交えたショーを実施。本物の演技と情熱、運動の楽しさと夢を見つける大切さを子どもたちに伝えた - プロ直伝！なわとびワークショップ(30分)： 子どもたちになわとび上達のコツや練習方法を指導するワークショップを実施。親子や子ども同士のコミュニケーションを促す「二人跳び」など、参加者が楽しく上達できる時間を提供した。
(2)実施場所	浜松市みをつくし文化センター ホール
(3)対象者	会員及び一般の方(幼児から大人まで、幅広くすべての方)

(4)実施体制と事業スケジュール	①人員配置・役割分担等	・事前準備スタッフ 6名 (会場の予約・設備確認、劇団との打ち合わせ、チラシの作成・配布、申し込み受付) ・当日運営スタッフ 6名 (演者との当日打ち合わせ、会場準備、駐車場誘導、受付、会場案内、公演中見守り、会場片付け)
	②事業期間	2024 年 11 月 4 日 (月) 14 : 30 ~ 15 : 30
	③実施スケジュール	2024 年 6 月 ~ 10 月 事前準備 2024 年 11 月 4 日 (月) 当日 14:00 開場 14:30 開演 ・なわとびパフォーマンスショー (30 分) ・なわとびワークショップ (30 分) 15:30 閉演

4 事業の目標と成果

(1)事業の目標と成果の確認	①事業の目標とその成果の確認方法	・事業の目標 : 会員だけでなく、幅広く一般の方にも 「生の舞台の良さ」 「親子で楽しむ、共感する良さ」 「仲間と公演を作り上げる良さ」 を実感していただけること。 ・成果の確認方法 : 閉演後、アンケートを実施。
	②目標達成のための工夫	・入場料を安く設定し、参加のハードルを下げた。 ・チラシを多数作成し、幼保こども園、小学校、体操教室を行っている体育館などの公共施設に広く配布し、周知に努めた。また、当団体の公式ブログやInstagramでの情報発信にも努めた。
	③事業終了後の展開	・一般客の方のアンケートから、 「親子で生の公演を楽しめてよかった」 「プロの技を目の前で見ることができた」 「こどもが夢中になって見ていた」 「プロの方に直接教えてもらえた」 「久しぶりに親子で運動を楽しんだ」 「今後もこういう公演があれば、ぜひ知らせてほしい」 等、好評をいただいた。 ・今後も、メールでの案内や公式ブログ、Instagramでの情報発信で、公演の周知を行う。また、観劇会以外の浜松子ども劇場の活動にもお誘いすることで、会員、仲間を増やし、観劇会やイベントの充実を計っていく。